



Innovation today, healthier tomorrows

2021年度（2022年3月期） 第3四半期決算カンファレンスコール

2022年1月31日

大日本住友製薬株式会社

将来予測に関する事項

- 本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 医薬品・医療機器（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 連結子会社であるマイオバント社はニューヨーク証券取引所に上場しており、当社グループはマイオバント社の発行済株式の約53%を保有しています。本資料にはマイオバント社に関する情報が含まれていますが、これらは同社による開示済の情報に基づいています。マイオバント社に関する詳細については、<https://www.myovant.com/> をご覧ください。

2021年度3Q決算概要

2021年度3Q決算概要

2021年度第3四半期 経営成績（コアベース）



金額単位：億円

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減			2021年度	
			金額	うち 為替影響	%	5/12予想	%
売上収益	3,948	4,321	373	142	9.5	5,780	74.8
売上原価	1,048	1,178	130	69	12.4	1,560	75.5
売上総利益	2,900	3,142	243	73	8.4	4,220	74.5
販売費及び一般管理費	1,457	1,886	429	68	29.5	2,630	71.7
研究開発費	717	678	△39	22	△5.4	950	71.3
その他の収益・費用（コア内）	△0	11	12	-	-	-	-
コア営業利益	726	590	△136	△18	△18.7	640	92.1
条件付対価公正価値の変動額（△：損）	△4	△2	1			△10	
その他の非経常項目（△：損）	154	△5	△158			△20	
営業利益	875	582	△293		△33.5	610	95.5
税引前四半期（当期）利益	797	656	△141		△17.7		
法人所得税	218	304	86				
四半期（当期）利益	579	352	△227		△39.2		
親会社の所有者に帰属する 四半期（当期）利益	703	464	△239		△34.0	410	113.1

通期業績予想を修正しています（P.9参照）

（参考）スミトバント社関連業績（億円）

	3Q累計	20年度	21年度
売上収益		38	251
販売費及び一般管理費 ※		266	653
研究開発費		188	175
コア営業利益		△416	△625
営業利益		△417	△625
四半期利益		△412	△634
親会社所有者 帰属四半期利益		△289	△522

上記数値は当社グループ内取引を含む

※特許権の償却費を含む

【為替レート】

2020年度3Q実績：1\$ = 106.1円 1元 = 15.5円

2021年度3Q実績：1\$ = 111.1円 1元 = 17.3円

2021年度予想：1\$ = 110.0円 1元 = 16.5円

2021年度3Q決算概要

主要製品売上収益（日本セグメント）

金額単位：億円

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減		2021年度	
			金額	%	5/12予想	%
エクア・エクメット	313	294	△19	△5.9	374	78.7
トルリシティ *	259	258	△1	△0.5	382	67.4
トレリーフ	127	129	2	1.8	179	72.0
リプレガル	106	107	1	1.0	138	77.2
メトグルコ	72	63	△9	△12.5	69	91.2
ラツータ	16	50	34	213.0	67	75.0
ロナセンテープ	9	15	6	64.3	25	61.6
アムロジン	51	45	△7	△12.8	50	89.3
AG品	59	75	16	27.4	101	73.8
その他	174	136	△38	△21.8	115	118.7
合計	1,185	1,172	△14	△1.2	1,500	78.1

(注) 上記の各品目別の売上収益は、仕切価ベースで記載（*トルリシティのみ薬価ベース）

- セグメント全体の進捗78.1%は、4Qの売上を考慮するとやや低め
- エクア・エクメットの減少は薬価改定による
- ラツータは順調な伸び
- 「その他」は長期収載品が高進捗9月発売のツイミーグを含む
- セグメント全体の薬価改定影響△54億円

2021年度3Q決算概要

主要製品売上収益（北米・中国セグメント）



	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減			2021年度		
						金額	うち 為替影響	%	5/12予想		円ベース %
北米セグメント	百万ドル			億円					百万 ドル	億円	
ラッーダ	1,513	1,413	△99	1,605	1,571	△34	71	△2.1	2,004	2,204	71.3
アプティオム	187	186	△1	198	207	9	9	4.5	249	274	75.6
プロバナ	212	103	△109	225	115	△110	5	△49.0	106	117	98.1
キンモビ	1	4	4	2	4	4	0	152.7	28	31	12.9
オルゴビクス	—	54	54	—	60	60	3	—	792	871	70.1
マイエンブリー/ライクオ	—	8	8	—	9	9	0	—			
ジェムテサ	—	38	38	—	42	42	2	—			
その他	142	449	308	150	499	349	23	232.4			
合計	2,055	2,256	201	2,180	2,507	327	113	15.0	3,179	3,497	71.7
中国セグメント	百万元			億円					百万元	億円	
メロペン	992	1,226	235	153	212	58	22	38.1	1,364	225	94.1
その他	242	339	97	37	59	21	6	56.6	442	73	80.2
合計	1,234	1,566	332	191	270	80	28	41.8	1,806	298	90.7

- **北米セグメント**：前年同期比増収、対通期予想では遅れている
- ラッーダは流通在庫調整による出荷減や価格の低下等で減収
- プロバナは6月に独占販売期間が終了し減収
- 大塚製薬との提携による収益270百万ドル（300億円）は「その他」に含む
- **中国セグメント**：前年のCOVID-19の影響から復調、想定を上回る進捗

【為替レート】

2020年度3Q実績：1\$ = 106.1円 1元 = 15.5円

2021年度3Q実績：1\$ = 111.1円 1元 = 17.3円

2021年度予想：1\$ = 110.0円 1元 = 16.5円

2021年度3Q決算概要

オルゴビクス、マイフェンブリー、ジェムテサの医療保険カバレッジ・累計患者数／単月処方箋枚数

■ 米国で獲得した医療保険カバレッジおよび累計患者数／単月処方箋枚数の推移 (2022年1月時点、民間保険/メディケアパートDの全加入者数に対するカバレッジ獲得割合、PRE-REVIEW COVERAGE含む)

オルゴビクス

(2021年1月発売)



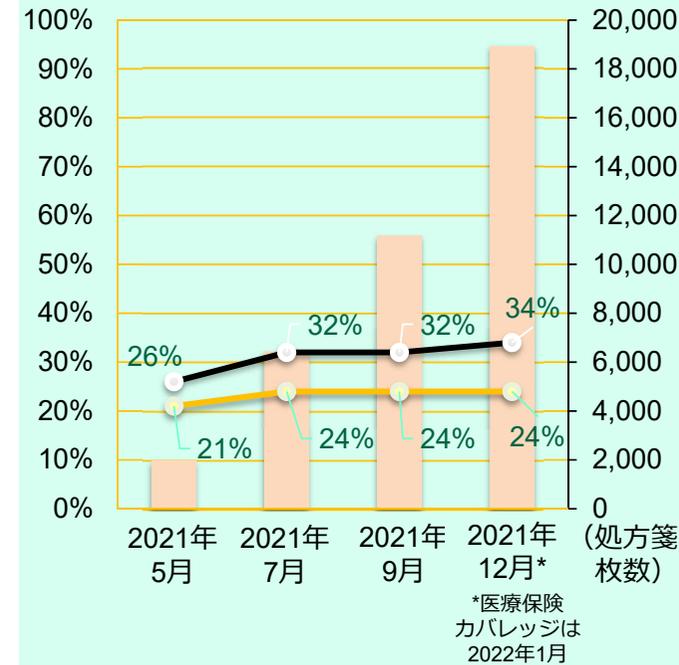
マイフェンブリー

(2021年6月発売)



ジェムテサ

(2021年4月発売)



* 左軸：% (— : 民間保険 — : メディケアパートD)、右軸：人 (■ : 累計患者数、■ : 単月処方箋枚数)

* マイフェンブリーの主なカバレッジは、民間保険

* 米国における民間保険の総数 (exchange含む) は約1億7,800万人、メディケアパートDの総数は約4,700万人

2021年度3Q決算概要

セグメント別 経営成績 (コアベース)

金額単位：億円

		医薬品事業					その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他	合計		
3Q累計 2021年度	売上収益 (外部顧客向け)	1,172	2,507	270	73	4,022	299	4,321
	売上原価	619	236	53	40	948	230	1,178
	売上総利益	553	2,271	218	33	3,075	68	3,142
	販売費及び一般管理費	383	1,356	88	19	1,847	40	1,886
	コアセグメント利益	170	915	129	14	1,228	28	1,256
	研究開発費					672	6	678
	コア営業利益					567	22	590
3Q累計 2020年度	売上収益 (外部顧客向け)	1,185	2,180	191	115	3,671	277	3,948
	売上原価	595	163	39	42	838	210	1,048
	売上総利益	591	2,017	152	73	2,833	66	2,900
	販売費及び一般管理費	361	972	67	20	1,420	38	1,457
	コアセグメント利益	230	1,045	85	53	1,414	29	1,442
	研究開発費					711	6	717
	コア営業利益					703	22	726
増減額	売上収益 (外部顧客向け)	△14	327	80	△41	351	22	373
	販売費及び一般管理費	22	384	21	△1	427	2	429
	コアセグメント利益	△61	△131	44	△39	△186	△1	△186
	研究開発費					△39	△0	△39
	コア営業利益					△136	△0	△136

- **日本セグメント:** 売上総利益の減少と費用増加によりコアセグメント利益は減益
- **北米セグメント:** 提携による一時金収益等で増収となったが、スミトバント社関連の費用増により減益
- **中国セグメント:** 増収が大きく寄与し、コアセグメント利益は増益
- **海外その他セグメント:** 輸出の減少により減益

2021年度業績予想

2021年度業績予想

2021年度 業績予想 (コアベース)

金額単位：億円

	2021年度 5/12予想	2021年度 修正予想	増減額
売上収益	5,780	5,540	△240
売上原価	1,560	1,540	△20
売上総利益	4,220	4,000	△220
販売費及び一般管理費	2,630	2,520	△110
研究開発費	950	920	△30
その他の収益・費用（コア内）	—	10	10
コア営業利益	640	570	△70
条件付対価公正価値の変動額（△：損）	△10	△10	—
その他の非経常項目（△：損）	△20	△10	10
営業利益	610	550	△60
親会社の所有者に帰属する当期利益	410	370	△40
R O E (%)	6.9	6.2	
R O I C (%)	非開示	非開示	

- **売上収益**：240億円の減額修正
北米（△304億円）
ラツォダ（△135億円）
中国（+60億円）
- **販管費**：無形資産の償却期間変更により償却費減額
- **研究開発費**：がん領域などで減額

(参考) スミトバント社関連費用（億円）

	2021 5/12予想	2021 修正予想	増減
販管費	960	900	△60
うち特許権償却	245	170	△75
研究開発費	210	210	—

グループ内取引消去前の数値

【為替レート】

2021年度従来予想： 1\$ = 110.0円 1元 = 16.5円

修正予想： 1\$ = 110.0円 1元 = 17.0円

2021年度業績予想

セグメント別 業績予想 (コアベース)

金額単位：億円

		医薬品事業					その他	連結
		日本	北米	中国	海外その他	合計		
修正 2021 年度 予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,484	3,193	358	120	5,155	385	5,540
	売上原価	790	317	69	67	1,243	297	1,540
	売上総利益	694	2,876	289	53	3,912	88	4,000
	販売費及び一般管理費	529	1,794	117	24	2,464	56	2,520
	コアセグメント利益	165	1,082	172	29	1,448	32	1,480
	研究開発費					910	10	920
	コア営業利益					548	22	570
5月 2021 日 予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,500	3,497	298	103	5,398	382	5,780
	売上原価	781	385	55	46	1,267	293	1,560
	売上総利益	719	3,112	243	57	4,131	89	4,220
	販売費及び一般管理費	529	1,919	109	16	2,573	57	2,630
	コアセグメント利益	190	1,193	134	41	1,558	32	1,590
	研究開発費					940	10	950
	コア営業利益					618	22	640
増 減 額	売上収益 (外部顧客向け)	△16	△304	60	17	△243	3	△240
	販売費及び一般管理費	0	△125	8	8	△109	△1	△110
	コアセグメント利益	△25	△111	38	△12	△110	0	△110
	研究開発費					△30	0	△30
	コア営業利益					△70	0	△70

- **日本セグメント:** 売上収益の減額修正および売上原価の増加により減益
- **北米セグメント:** 償却費の減少など販管費を減額するが、ラツードなどの売上収益の減額の影響が大きく、減益
- **中国セグメント:** メロペンの売上収益の増額により、売上、利益ともに増額修正

2021年度業績予想

主要製品売上収益（日本セグメント）

金額単位：億円

	2021年度 5/12予想	2021年度 修正予想	増減額
エクア・エクメット	374	374	—
トルリシティ *	382	339	△43
トレリーフ	179	165	△14
リプレガル	138	121	△17
メトグルコ	69	81	12
ラツータ	67	67	—
ロナセンテープ	25	20	△5
アムロジン	50	55	5
AG品	101	98	△3
その他	115	164	49
合計	1,500	1,484	△16

- セグメント全体で16億円の減額
- トルリシティ、トレリーフを減額
- 2月で販売終了するリプレガルを減額
- 主に長期収載品の高い進捗に合わせ、「その他」を増額

(注) 上記の各品目別の売上収益は、仕切価ベースで記載（*トルリシティのみ薬価ベース）

2021年度業績予想

主要製品売上収益（北米・中国セグメント）

	2021年度 5/12予想	2021年度 修正予想	増減	2021年度 5/12予想	2021年度 修正予想	増減
北米セグメント	百万ドル			億円		
ラツータ	2,004	1,881	△123	2,204	2,069	△135
アプティオム	249	239	△10	274	263	△11
プロバナ	106	115	9	117	126	9
キンモビ	28	5	△23	31	6	△25
オルゴビクス	792	663	△129	871	729	△142
マイエンブリー/ライエコ						
ジェムテサ						
その他						
合計	3,179	2,903	△276	3,497	3,193	△304
中国セグメント	百万元			億円		
メロペン	1,364	1,635	271	225	278	53
その他	442	470	28	73	80	7
合計	1,806	2,105	299	298	358	60

- **北米セグメント**：304億円の減額修正
- ラツータは在庫調整による出荷減や価格の下振れを見込み減額
- アプティオム、キンモビ減額修正
- 「その他」は、期初予想に織り込んでいた提携収益など（△110億円程度）を含めて減額
- **中国セグメント**：メロペンなどで増額修正

【為替レート】

2021年度従来予想 : 1\$ =110.0円 1元=16.5円
 修正予想 : 1\$ =110.0円 1元=17.0円

研究開発

研究開発

主な開発品目一覧 (2022年1月31日現在)



 : 精神神経領域
 : がん領域
 : 再生・細胞医薬分野
 : その他の領域
 : フロンティア事業
 2021年10月以降の変更部分は赤字で示しています

地域	フェーズ1		フェーズ2	フェーズ3	申請
日本	DSP-9632P (パーキンソン病におけるレボドパ誘発性ジスキネジア)	DSP-0390 (固形がん)	EPI-589 (ALS/医師主導治験)	ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	
	DSP-0187 (ナルコレプシー)	TP-3654 (血液がん)	他家iPS細胞由来細胞医薬 (パーキンソン病/医師主導治験)	SEP-4199 (双極I型障害うつ)	
		DSP-5336 (血液がん)			
米国	DSP-6745 (パーキンソン病に伴う精神病症状)	guretolimod (DSP-0509) (固形がん)	EPI-589 (パーキンソン病/ALS)	ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	マイフェンブリー (レルゴリクス) (新効能: 子宮内膜症)
	SEP-378608 (双極性障害)	itacnosertib (TP-0184) (血液がん)	ulotaront (SEP-363856) (パーキンソン病に伴う精神病症状)	SEP-4199 (双極I型障害うつ)	
	DSP-3905 (神経障害性疼痛)	TP-1287 (固形がん)	dubermatinib (TP-0903) (AML/外部研究機関主導治験)	ジェムテサ (ビベグロン) (新効能: 前立腺肥大症を伴う過活動膀胱)	
	SEP-378614 (未定)	TP-3654 (血液がん)	DSP-7888 (固形がん)		
	SEP-380135 (未定)	TP-1454 (固形がん)	rodatristat ethyl (肺動脈性肺高血圧症)		
	DSP-0038 (アルツハイマー病に伴う精神病症状)	DSP-0390 (固形がん)	URO-902 (過活動膀胱)		
	KSP-1007 (複雑性尿路感染症、 複雑性腹腔内感染症)	DSP-5336 (血液がん)			
中国				ラツーダ (新効能: 双極I型障害うつ)	レファムリン (細菌性市中肺炎)
				ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	
欧州					レルゴリクス (前立腺がん)

臨床開発の進捗状況（2021年10月27日からの主な変更点）

- **SEP-4199**
日本：双極 I 型障害うつ フェーズ3試験を開始（国際共同フェーズ3試験に参加）
- **DSP-0187**
日本：ナルコレプシー フェーズ1試験を開始
- **DSP-1181**
日本：開発を中止
 - フェーズ1試験の結果、期待したクライテリアの未達
- **DSP-7888**
米国・日本：膠芽腫 フェーズ3試験を中止
 - フェーズ3試験の中間解析の結果、最終解析で主要評価項目（OS）の有意な延長を示す可能性が低いと判断
- **DSP-5336**
日本：血液がん フェーズ1試験を開始
- **KSP-1007**
米国：複雑性尿路感染症および複雑性腹腔内感染症 フェーズ1試験を開始
- **SMC-01（2型糖尿病管理指導アプリ）**
日本：開発を中止
 - フェーズ3試験の結果、主要評価項目であるHbA1cのベースラインからの変化量が未達

製品上市目標 (2022年1月31日現在)

2021年10月以降の変更部分は赤字で示しています

リサイミック 
 (小児先天性無胸腺症)
 2021年10月承認取得

ツイミーグ 
 (2型糖尿病)
 2021年9月発売

マイフェンブリー 
 (子宮筋腫)
 2021年6月発売

ジェムテサ 
 (過活動膀胱)
 2021年4月発売

マイフェンブリー 
 (新効能：子宮内膜症)
 審査終了目標日：2022年5月

ulotaront (SEP-363856) 
 (統合失調症)

ラツータ 
 (新効能：双極 I 型障害うつ)

**他家iPS細胞由来
細胞医薬** 
 (パーキンソン病) *

レファムリン 
 (細菌性市中肺炎)

**他家iPS細胞由来
細胞医薬** 
 (加齢黄斑変性) *

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
--------	--------	--------	--------	--------

2022年度以降に複数のフロンティア事業品目を上市予定 (別掲)  

-  : 精神神経領域
-  : 再生・細胞医薬分野
-  : フロンティア事業
-  : がん領域
-  : その他の領域

*連携先との合意ではない当社の目標

参考資料

<目次>

- P.18 2021年度3Q 経営成績（フルベース）
- P.19 2021年度の主なイベント／目標
- P.20 製品上市目標（フロンティア事業）
- P.21 再生・細胞医薬分野 事業化計画
- P.22 新規化合物の紹介：DSP-0187
- P.23 新規化合物の紹介：KSP-1007
- P.24 レルゴリクス、ジェムテサ（ビベグロン）の開発状況

参考資料 (2021年度3Q決算概要)

2021年度3Q 経営成績 (フルベース)

金額単位：億円

	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	増減額	%
売上収益	3,948	4,321	373	9.5
売上原価	1,048	1,178	130	12.4
売上総利益	2,900	3,142	243	8.4
販売費及び一般管理費	1,470	1,890	420	28.6
研究開発費	717	678	△39	△5.4
その他の収益・費用	163	8	△155	
営業利益	875	582	△293	△33.5
金融収益・費用	△78	74	152	
税引前四半期利益	797	656	△141	△17.7
法人所得税	218	304	86	
四半期利益	579	352	△227	△39.2
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	703	464	△239	△34.0

2021年度の主なイベント／目標（2022年1月31日現在）

✓ 完了したイベント／目標 * 2021年10月以降の変更部分は赤字で示しています

<p>精神神経</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ulotaront : <input type="checkbox"/> 新たに開発（グローバル試験）する適応症の臨床試験に着手（SEP-363856） <input type="checkbox"/> 統合失調症の米国でのフェーズ3試験、日本・中国でのフェーズ2/3試験を推進 ✓ SEP-4199 : 双極 I 型障害うつもののフェーズ3試験の開始
<p>がん</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> DSP-7888 : 膠芽腫の国際共同フェーズ3試験の推進 ⇒試験中止
<p>再生・細胞医薬</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ RVT-802 : 米国で小児先天性無胸腺症の承認取得 <input type="checkbox"/> 他家iPS細胞由来医薬品（加齢黄斑変性） : 企業治験開始 ✓ 他家iPS細胞由来医薬品（パーキンソン病） : 医師主導治験の移植完了
<p>感染症</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 薬剤耐性（AMR）、ユニバーサルインフルエンザワクチン、マラリアワクチン : 共同研究開発プロジェクトの推進
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> レルゴリクス : (米国) ✓ 子宮筋腫の承認取得 ✓ 子宮内膜症の申請 (欧州) ✓ 子宮筋腫の承認取得 <input type="checkbox"/> 子宮内膜症の申請 ✓ イメグリミン : 日本で2型糖尿病の承認取得
<p>フロンティア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既存テーマの推進（2型糖尿病管理指導用アプリ、手指麻痺用ニューロリハビリ機器、認知症周辺症状用機器、自動採血・保存デバイス、社交不安障害用VRコンテンツ等）および新規テーマの開拓

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度～
	自動採血・保存 デバイス 		バイオレット ライト（うつ） 		デジタル うつ病診断医療機器 
認知症 周辺症状用機器*1 	難聴者用 スマートグラス 	バイオレット ライト（うつ） 	バイオレット ライト（認知症） 		認知症 周辺症状用機器 
社交不安障害用 VRコンテンツ*2 	ウェアラブル 脳波計 	バイオレット ライト（認知症） 	手指麻痺用 ニューロリハビリ機器 	社交不安障害用 VRコンテンツ 	VR事業 （疾患拡大） 

*1 提携先による販売

*2 提携先による販売、対象症状を順次拡大予定

事業内容（デバイス販売、ソリューションビジネス、ロイヤリティなど）は製品により異なる

 : 医療機器

 : 非医療機器

再生・細胞医薬分野 事業化計画（2022年1月31日現在）

2021年10月以降の変更部分は赤字で示しています

予定適応症等	連携先	予定地域	細胞種	実施状況
小児先天性無胸腺症 (リサイミック)	デューク大学	Global	培養胸腺組織	2021年10月承認取得 (米国)
加齢黄斑変性	ヘリオス 理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 網膜色素上皮	臨床研究実施中 企業治験開始に向けて準備中 (日本)
パーキンソン病 (先駆け審査指定制度対象)	京都大学iPS 細胞研究所 (CiRA)	Global	他家 iPS細胞由来 ドパミン神経 前駆細胞	医師主導治験実施中 (フェーズ1/2試験) (日本)
網膜色素変性	理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 網膜シート (立体組織)	臨床研究実施中
脊髄損傷	慶應義塾大学 大阪医療センター	Global	他家 iPS細胞由来 神経前駆細胞	臨床研究実施中
腎不全	東京慈恵会医科大学 バイオス ポル・メド・テック	日本 北米	自家/他家 iPS細胞由来 ネフロン前駆細胞 (立体臓器)	非臨床試験実施中

2022年度
治験開始目標

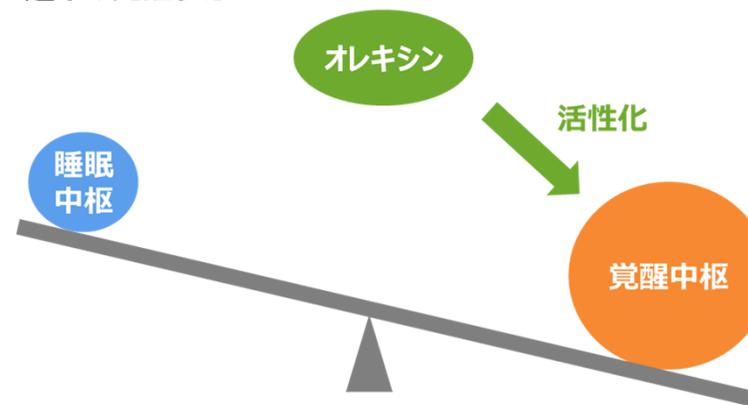
2024年度
上市目標*

* 上市目標は連携先との合意ではない当社の目標

新規化合物の紹介：DSP-0187

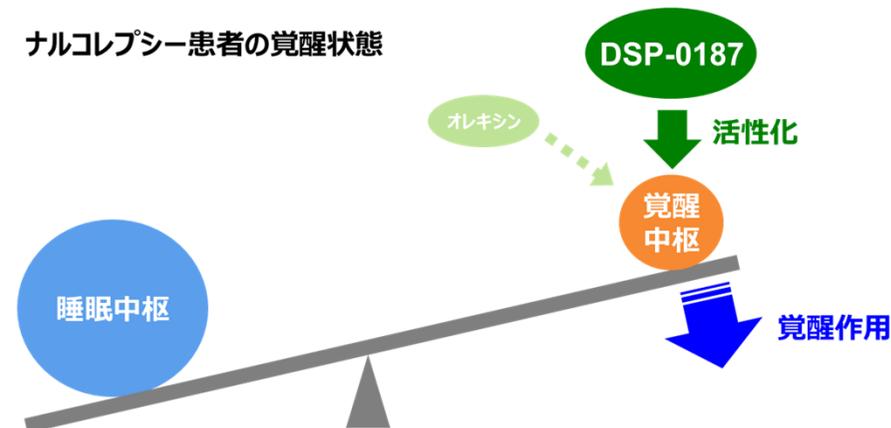
- ✓ 対象疾患：ナルコレプシー
- ✓ 起源：自社
- ✓ 薬理的機序：オレキシン2受容体作動薬
- ✓ 開発段階：フェーズ1（日本）
- ✓ 期待されるプロフィール：
 - 覚醒ホルモン「オレキシン」が欠乏しているナルコレプシー患者に対しオレキシンシグナルを活性化させることで、日中過眠および情動脱力発作を改善させる
 - 既存薬より、高い有効性を有し、ナルコレプシー以外の過眠疾患に対しても有効である

通常の覚醒状態



オレキシンは覚醒中枢を刺激して覚醒状態を引き起こす

ナルコレプシー患者の覚醒状態

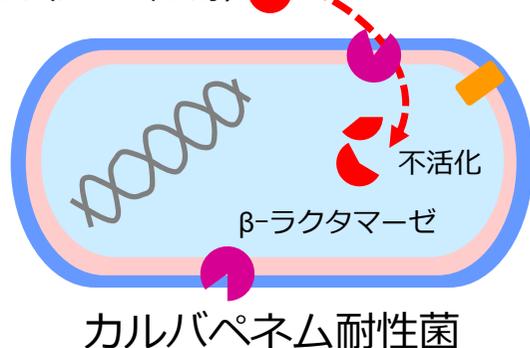


DSP-0187により覚醒中枢を刺激し、覚醒状態を改善する

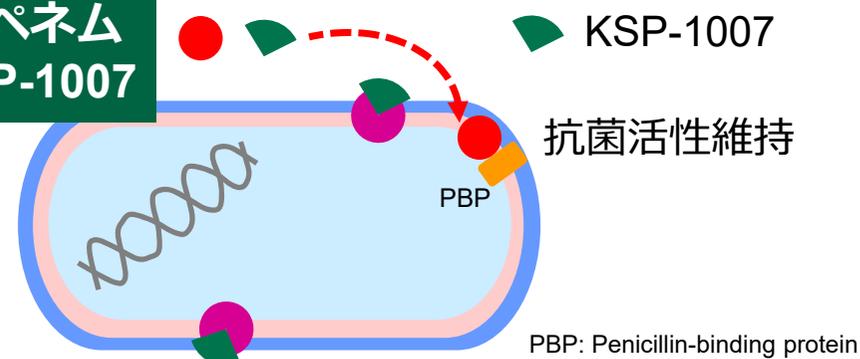
新規化合物の紹介：KSP-1007

- ✓ 対象疾患：複雑性尿路感染症および複雑性腹腔内感染症
- ✓ 起源：自社（北里研究所との共同研究）
- ✓ 薬理的機序： β -ラクタマーゼ阻害
- ✓ 開発段階：フェーズ1（米国）
- ✓ 期待されるプロフィール：
 - 本剤は、AMED CiCLE事業に係る研究開発課題において実施している北里研究所との共同研究で見出した新規化合物である
 - β -ラクタマーゼを広域かつ強力に阻害する作用を有し、世界的に汎用されているカルバペネム系抗生物質製剤メロペネム水和物との配合剤とすることで、世界的脅威であるAMR（薬剤耐性）菌のひとつであるカルバペネム耐性菌による感染症に対して有効な治療選択肢となることが期待される

カルバペネム（メロペネム等）



メロペネム
+ KSP-1007



レルゴリクス、ジェムテサ（ビベグロン）の開発状況

2021年10月以降の変更部分は赤字で示しています

■ レルゴリクスの開発状況

<p>がん領域（単剤） 米国：オルゴビクス</p>	<p>進行性前立腺がん 米国 2021年1月発売 欧州 2021年3月申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ （北米）2020年12月、マイオバント社がPfizer社と開発・販売提携 ➢ （北米と一部のアジアを除く地域）Pfizer社が販売に関するオプション権を行使せず、マイオバント社は新たなパートナーを検討中
<p>婦人科領域（配合剤） 米国：マイフェンブリー 欧州：ライエクオ</p>	<p>子宮筋腫 米国 2021年5月承認取得、2021年6月発売 欧州 2021年7月承認取得、Gedeon Richter社が発売</p> <p>子宮内膜症 米国 2021年7月申請、審査終了目標日 2022年5月6日 欧州 2022年申請予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ （北米）2020年12月、マイオバント社がPfizer社と開発・販売提携 ➢ （欧州、ロシアなど）2020年3月、マイオバント社がGedeon Richter社と開発・販売提携

■ ジェムテサ（ビベグロン）の開発状況

<p>過活動膀胱</p>	<p>米国 2021年4月発売</p>
<p>前立腺肥大症を伴う過活動膀胱</p>	<p>米国 フェーズ3試験段階、2022年度結果判明予定</p>



大日本住友製薬

Innovation today, healthier tomorrows